平成２３年度

学習状況調査

調 査 結 果 報 告 書

平成２４年３月

秋田県教育委員会

ま　え　が　き

県教育委員会では、平成２３年１２月、小学校４年生から中学校２年生を対象に学習状況調査を実施いたしました。この調査は、学習指導要領の内容等の定着度を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫・改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査と本調査を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資することをねらいとして実施しているものです。

小学校については、第４学年が国語、算数、理科の３教科及び意欲等に関する質問紙調査、第５学年と第６学年が国語、社会、算数、理科の４教科及び意欲等に関する質問紙調査、中学校については、第１学年、第２学年とも国語、社会、数学、理科、英語の５教科及び意欲等に関する質問紙調査を実施しております。

また、本年度の特色として、昨年度に引き続き国語と算数・数学のみならず全ての教科で、全国学力・学習状況調査Ｂ問題の出題趣旨を生かした問題及び県の課題の改善状況を明らかにするために複数学年にわたる共通問題を出題しております。さらに、“「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題や高校入試を参考にした問題も出題いたしました。

このたび、本年度の結果がまとまりましたので、報告書をお届けいたします。本報告書では、学習状況調査集計・分析システムによる各種データに基づいた、秋田県全体の学力や学習の状況に加え、各教科毎の授業改善への提言をまとめております。

さて、これまでの全国学力・学習状況調査の結果から、本県の児童生徒の学力・学習状況は、きわめて良好であることがわかりました。これは、学校教育を中心に、家庭や地域の教育力及び県内大学からの協力など、本県の教育環境が充実していることの証と考えております。そのなかで、本調査は全国学力・学習状況調査とともに、少人数学習をはじめ、各校の取組の成果と課題を明らかにし、児童生徒の課題改善のための補充的な指導や授業改善、次年度の年間指導計画作成等へとつなげる検証改善サイクルを確立するための重要な役割を果たすことと認識しております。

各小・中学校では、既に自校の集計結果を分析し、検討した改善策等を基に、具体的な取組を始めていただいているところですが、積極的に本報告書及び学習状況調査問題を活用し、児童生徒の一層の学力向上に役立てていただくことを期待しております。

終わりに、本調査研究に御協力いただいた県内全ての市町村教育委員会、各小・中学校に深く感謝の意を表します。

平成２４年３月

秋田県教育委員会